

平成31年度 音楽科 第1学年 学習指導・評価計画

- 1 音楽科の学習指導のねらいおよび目標
 - (1) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・感心を養い、音楽によって生活を明るく豊かなものにする態度を育てる。
 - (2) 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身に付け、創意工夫して表現する能力を育てる。
 - (3) 多様な音楽のよさや美しさを味わい、幅広く主体的に鑑賞する能力を育てる。
- 2 音楽科の学習で大切なこと
 - ・生涯にわたって音楽を楽しむことができる、資質や能力を身に付けること。
- 3 思考力・判断力・表現力を高めるには
 - ・知識や技術の習得（思考力）
 - ・考える力の育成（判断力）
 - ・知識、技能を実際に活用（表現力）
- 4 家庭学習の進め方
 - ・定期考査前は、ワークシートや教科書の復習。
- 5 評価について
 - ・授業観察、練習観察、ワークシート、提出物、実技テスト、定期考査

【評価の観点およびその趣旨】

観 点	趣 旨
①音楽への関心・意欲・態度	音楽に親しみ、音や音楽に関心をもち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする
②音楽表現の創意工夫	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら音楽表現を工夫し、どのように表すかについて思いや意図をもっている
③音楽表現の技能	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身につけ、歌唱・器楽・創作で表している
④鑑賞の能力	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質を感じ取りながら解釈したり価値を考え、自分なりの批評を持ってよさや美しさを味わって聴いている

◇年間指導（学習）・評価計画

学期	月	領域 題材	学習内容	評価の 観点	評価規準または基準	評価の方法 評価材料
一 学 期	4	歌唱「校歌」	「歌唱」 伝え合う歌い方を求めて	①②③	・歌詞が表す心情を生かして、音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 ・歌詞が表す心情や、曲の表情や味わいを感じ取りながら、音楽表現を工夫してどのように歌うかについて思いや意図をもっている。 ・歌詞の内容や曲想を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけて歌っている。	授業観察 練習観察 ワークシート 提出物 実技テスト 定期考査
	5	鑑賞「動物の謝肉祭」	「鑑賞」 イメージと音楽との関わり	①④	・音楽を形作っている要素の働きや、それらと曲想との関わりについて関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 ・音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら音楽を形作っている要素と曲想との関わりを感じ取って言葉で説明するなどして音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	
	6	歌唱 「朝の風に」	「歌唱」 へ音譜表の理解とパートの役割 ハーモニーの美しさ・楽しさ	①②③	・変声後の男子の声の高さとへ音譜表との関係や声部の役割に関心をもち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 ・音の重なり方の特徴や声部の役割、全体の響きを感じながら音楽表現を工夫して、どのように歌うかについての思いや意図をもっている。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身につけて歌っている。	

		鑑賞・器楽	鑑賞・器楽（1h） オーケストラ鑑賞教室に向けて	④	・音楽鑑賞をするにあたり、ホールでのマナーについて理解したり、オーケストラについて、理解し、鑑賞教室に向けて意識を高めている。	
	7	鑑賞 合唱コンクール選曲	「鑑賞」（2h）	④	・リズム、テクスチャ、音色、旋律、を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、解釈したり、価値を考えたりしながら鑑賞し、選曲している。	
二 学 期 （ 7 / 2 1 / 1 2 / 2 5 ）	9	歌唱 「赤とんぼ」	「歌唱」（2h） 詩と音楽との関わり	①②③	① 歌詞の内容や曲想に関心を持ち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 ② 歌詞の内容とリズム、旋律の動き、形式などの音楽を形作っている要素が生み出す曲想を感じ、言葉の特性を生かした音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 ③ 歌詞の内容や曲想を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけている。	授業観察 練習観察 ワークシート 提出物 実技テスト 定期考査
	10	鑑賞「魔王」 旋律のまとまりと構成	「鑑賞」（3h） 物語を歌で表現する芸術	①④	・詩と音楽が一体となっている歌曲の表現効果に関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 ・歌詞に表わされている場面の描写や登場人物の心情の変化と旋律や強弱、伴奏の変化の関わりを感じ取って、情景をイメージしながら音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	
	11	創作 「ピンゴ・リズム」	「創作」（2h） 旋律のまとまりと構成	①②③	・ハ長調の音階の特徴に関心を持ち、決まったリズムを生かしてまとまりや変化のある旋律をつくる学習に主体的に取り組もうとしている。 ・まとまりのある変化のある旋律をどのように作るかについて、思いや意図をもっている。 ・ハ長調の音階の特徴を生かし、まとまりや変化を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけて旋律を作って記譜している。	
	12	鑑賞「六段の調べ」	「鑑賞」（2h） 日本の伝統音楽	①④	・楽器の音色や奏法の特徴、音楽を形づくっている要素や構造、曲想との関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 ・楽器の音色や奏法も特徴、音楽を形づくっている要素や構造、曲想との関わりを感じ取って、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	
三 学 期 （ 1 2 / 2 6 / 3 / 2 3 ）	1	器楽箏曲 「さくらさくら」	「器楽」（6h） 日本の伝統音楽	①②③	・楽器の特徴、基礎的な奏法に関心にもち、それらを生かした音楽表現を工夫して演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 ・楽器の特徴や音の重なりの特徴を知覚し、基礎的な奏法を生かしてどのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 ・創意工夫し、音楽表現をするために必要な技能を身につけて演奏している。	授業観察 練習観察 ワークシート 提出物 実技テスト 定期考査
	2 ・ 3	合唱コンクール曲 卒業式歌 入学式歌 国歌	「歌唱」（7h） 表現の高まりを求めて	①②③	・歌詞の内容や曲想に関心を持ち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 ・音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、歌詞の内容や曲想を感じ取って曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 ・歌詞の内容を生かした、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な技能を身につけて歌っている。	

（ 学習内容は、時期や題材等が変更になることがあります ）

平成 3 1 年度 音楽科 第 2 学年 学習指導・評価計画

- 1 音楽科の学習指導のねらいおよび目標
 - (1) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・感心を高め、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を育てる。
 - (2) 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創意工夫して表現する能力を高める。
 - (3) 多様な音楽に対する理解を深め、幅広く主体的に鑑賞する能力を高める。
- 2 音楽科の学習で大切なこと
 - ・生涯にわたって音楽を楽しむことができる、資質や能力を身に付けること。
- 3 思考力・判断力・表現力を高めるには
 - ・知識や技術の習得（思考力）
 - ・考える力の育成（判断力）
 - ・知識、技能を実際に活用（表現力）
- 4 家庭学習の進め方
 - ・定期考査前は、ワークシートや教科書の復習。
- 5 評価について
 - ・授業観察、練習観察、ワークシート、提出物、実技テスト、定期考査

【評価の観点およびその趣旨】

観 点	趣 旨
①音楽への関心・意欲・態度	音楽に親しみ、音や音楽に関心をもち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする
②音楽表現の創意工夫	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら音楽表現を工夫し、どのように表すかについて思いや意図をもっている
③音楽表現の技能	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身につけ、歌唱・器楽・創作で表している
④鑑賞の能力	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質を感じながら解釈したり価値を考え、自分なりの批評を持ってよさや美しさを味わって聴いている

◇年間指導（学習）・評価計画

学期	月	題材	学習内容	評価の観点	評価規準または基準	評価の方法 評価材料
一 学 期	4	鑑賞 「オペラについて」 「アイダ」	「鑑賞」 オペラについて 舞台芸術と音楽	①④	<ul style="list-style-type: none"> ・オペラについて、音楽の特徴とその背景となる文化・歴史や他の芸術との関連に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 ・声の特徴や音色、旋律、テクスチャなどを知覚し、それらの要素と曲想との関わりを理解して、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 ・旋律線に関心をもち、それを生かした音楽表現を工夫して演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 	授業観察 練習観察 ワークシート 提出物 実技テスト 定期考査
	5	歌唱 「夏の日の贈り物」	「歌唱」 旋律線を生かした表現の工夫	①②③	<ul style="list-style-type: none"> ・旋律線に関心をもち、それを生かした音楽表現を工夫して演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 ・旋律線を知覚し、音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 ・曲想にふさわしい必要な技能を身につけている。 	
	6	器楽 「AR」	「器楽」 旋律線を生かした表現の工夫	①②③	<ul style="list-style-type: none"> ・旋律線に関心をもち、それを生かした音楽表現を工夫して演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 ・旋律線を知覚し、音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 ・曲想にふさわしい必要な技能を身につけている。 	

	7	鑑賞 合唱コンクール選曲	「鑑賞」	④	・リズム、テクスチャ、音色、旋律、を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、解釈したり、価値を考えたりしながら鑑賞し、選曲している。	
二 学 期	9	歌唱 「荒城の月」	「歌唱」 日本歌の美しさを求めて	①②③	・歌詞の内容や、歌詞と旋律の関わり、曲想に関心を持ち、曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 ・曲のもつ情緒を味わいながら、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 ・歌詞の内容や曲想を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけて歌っている。	授業観察 練習観察 ワークシート 提出物 実技テスト 定期テスト
	10	器楽 和楽器「箏」	「器楽」 旋律線を生かした表現の工夫	①②③	・旋律線に関心を持ち、それを生かした音楽表現を工夫して演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 ・旋律線を知覚し、音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 ・曲想にふさわしい必要な技能を身につけている。	
	11	鑑賞 「交響曲第五番」	「鑑賞」 オーケストラの響きと曲の構成と形式の理解	①④	・オーケストラの響き、動機の反復や変化、ハ短調、動機の旋律の組み合わせ方、ソナタ形式や構造と曲想との関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 ・「交響曲第五番」の形づくっている要素や構造と曲想との関わりを理解して、解釈したり、価値を考えたりし、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 オーケストラの響き、動機の反復や変化、ハ短調、動機の旋律の組み合わせ方、ソナタ形式や構造を知覚し、それらが生み出す特質や雰囲気を感じている。	
	12	創作 「レッツグレート」	「創作」 言葉によるリズムアンサンブル	①②	・言葉の特徴を生かし、音楽表現を工夫して音楽をつくる学習に主体的に取り組もうとしている ・リズム・反復・変化・言葉の重ね方などを工夫することができる。	
三 学 期	1	鑑賞「勸進帳」	「鑑賞」 日本の伝統芸能と音楽	①④	・歌舞伎について、音楽の特徴とその背景となる文化・歴史や他の芸術との関連に関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 ・声の特徴や音色、旋律、テクスチャなどを知覚し、それらの要素と曲想との関わりを理解して、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	授業観察 練習観察 ワークシート 提出物 実技テスト 定期テスト
	2 ・ 3	歌唱 合唱コンクール曲 卒業式歌 入学式歌 国歌	「歌唱」 表現の高まりを求めて	①②③	・歌詞の内容や曲想に関心を持ち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 ・音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、歌詞の内容や曲想を感じ取って曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 ・歌詞の内容を生かした、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な技能を身につけて歌っている。	

(＊学習内容は、時期や題材等が変更になることもあります)

平成31年度 音楽科 第3年 学習指導・評価計画

- 1 音楽科の学習指導のねらいおよび目標
 - (1) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・感心を高め、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を育てる。
 - (2) 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創意工夫して表現する能力を高める。
 - (3) 多様な音楽に対する理解を深め、幅広く主体的に鑑賞する能力を高める。
- 2 音楽科の学習で大切なこと
 - ・生涯にわたって音楽を楽しむことができる、資質や能力を身に付けること。
- 3 思考力・判断力・表現力を高めるには
 - ・知識や技術の習得（思考力）
 - ・考える力の育成（判断力）
 - ・知識、技能を実際に活用（表現力）
- 4 家庭学習の進め方
 - ・定期テスト前は、ワークシートや教科書の復習。
- 5 評価について
 - ・授業観察、練習観察、ワークシート、提出物、実技テスト、定期考査

【評価の観点およびその趣旨】

観 点	趣 旨
①音楽への関心・意欲・態度	音楽に親しみ、音や音楽に関心をもち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする
②音楽表現の創意工夫	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら音楽表現を工夫し、どのように表すかについて思いや意図をもっている
③音楽表現の技能	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身につけ、歌唱・器楽・創作で表している
④鑑賞の能力	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質を感じながら解釈したり価値を考え、自分なりの批評を持ってよさや美しさを味わって聴いている

◇年間指導（学習）・評価計画

学期	月	領域 題材	学習内容	評価の 観点	評価規準または基準	評価の方法 評価材料
一 学 期	4	歌唱「花」	「歌唱」 日本の歌の美しさ	①②③	・歌詞が表す情景や心情、背景、曲想に関心をもち、曲にふさわしい音楽表現の工夫をして歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 ・曲想の変化を感じ取りながら、音楽表現を工夫してどのように歌うかについて思いや意図をもっている。 ・曲想を生かす音楽表現をするために必要な技能を身につけて歌っている	授業観察 練習観察 ワークシート 提出物 実技テスト 定期考査
	5	鑑賞「ブルタバ」	「鑑賞」 オーケストラの名曲の鑑賞	①④	・音楽の特徴とその背景となる歴史に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 ・音楽の特徴をその背景となる歴史と関連付けて理解して、解釈したり、価値を考えたりし、鑑賞している。	
	6	歌唱 「帰れソレントへ」	「歌唱」 イタリアの心を表す歌の味わい	①②③	・調や速度、強弱などに関心をもち、それを生かした音楽表現を工夫して演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 ・調や速度、強弱を知覚し、雰囲気を感じながら、音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 ・曲想にふさわしい必要な技能を身につけている。	
	7	鑑賞 合唱コンクール選曲	「鑑賞」	④	・リズム、テクスチャ、音色、旋律、を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、解釈したり、価値を考えたりしながら鑑賞し、選曲している。	

二 学 期	9	鑑賞 「鍵盤楽器等の名曲」	「鑑賞」 室内楽の名曲を聴いてみよう	①④	<ul style="list-style-type: none"> 様々な楽器の音を聴き比べて、音楽を形作っている要素や構造の働きが生み出す曲想の違いに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 リズム、旋律、テクスチュア、音色などの音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、諸要素や構造と曲想との関わりを理解して、解釈したり考えたりし、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 	授業観察 練習観察 ワークシート 提出物 実技テスト 定期考査
	10	鑑賞「能/雅楽」	「鑑賞」 日本の伝統音楽の味わい	①④	<ul style="list-style-type: none"> 音楽の特徴とその背景となる文化・歴史や他の芸術との関連に関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽の特徴をその背景となる文化・歴史やその他の芸術と関連つけて理解して、解釈したり、価値を考えたりし、鑑賞している。 	
	11	創作 「旋律創り」	「創作」 リズムパターンで構成する音楽の楽しみ	①②	<ul style="list-style-type: none"> イメージすることに関心を持ち、イメージを音楽で表現する学習に主体的に取り組もうとしている。 楽器の音色やリズム、テクスチュア、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、どのように創作するかについて思いや意図を持っている。 	
	器楽 「アンサンブル」	「器楽」 旋律線を生かした表現の工夫	①②③	<ul style="list-style-type: none"> 全体の響きとのかかわりに関心を持ち、音楽表現を工夫しながら演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 音色、リズム、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて、思いや意図を持っている。 全体の響きとのかかわりを生かした音楽表現を工夫するために必要な技能を身につけて演奏している。 		
12	合唱コンクール曲 学年合唱	「歌唱」 表現の高まりを求めて	①②③	<ul style="list-style-type: none"> 歌詞の内容や曲想に関心を持ち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、歌詞の内容や曲想を感じ取って曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図を持っている。 歌詞の内容を生かした、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な技能を身につけて歌っている。 		
三 学 期	1	鑑賞 「世界の諸民族の音楽」	「鑑賞」 世界各地の楽器の音楽	①④	<ul style="list-style-type: none"> 楽器の特徴や音色に関心を持ち、それらによる音楽の味わいの違いを感じ取って鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 楽器の特徴や音色を知覚し、それらによる音楽の味わいの違いを感じ取って聴いている。 	授業観察 練習観察 ワークシート 提出物 実技テスト 定期テスト
	2 ・ 3	合唱コンクール曲 卒業式歌 国歌	「歌唱」 表現の高まりを求めて	①②③	<ul style="list-style-type: none"> 歌詞の内容や曲想に関心を持ち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、歌詞の内容や曲想を感じ取って曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図を持っている。 歌詞の内容を生かした、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な技能を身につけて歌っている。 	

(*学習内容は、時期や単元等が変更になることもあります)